

1. 次の数列の初項から第  $n$  項までの和を求めよ。

(1)  $3^2, 6^2, 9^2, 12^2, \dots$

(2)  $1 \cdot 5, 2 \cdot 7, 3 \cdot 9, 4 \cdot 11, \dots$

(3)  $2, 2+4, 2+4+6, 2+4+6+8, \dots$

(4)  $1, 1+\frac{1}{3}, 1+\frac{1}{3}+\frac{1}{3^2}, \dots$

2. 次の和を求めよ。

(1)  $\sum_{k=1}^n k(k^2+1)$

(2)  $\sum_{k=1}^n (3n-k+1)$

(3)  $\sum_{k=5}^{14} (2k-9)$

4. 次の数列の初項から第  $n$  項までの和を求めよ。  $\frac{1}{1 \cdot 5}, \frac{1}{5 \cdot 9}, \frac{1}{9 \cdot 13}, \dots$ 5. 和  $\sum_{k=1}^n k 2^k$  を求めよ。3. 一般項が  $2n \cdot 3^{n-1}$  で表される数列の初項から第  $n$  項までの和

$$S = 2 \cdot 1 + 4 \cdot 3 + 6 \cdot 3^2 + \dots + 2n \cdot 3^{n-1}$$

を求めよ。

6. 数列  $\frac{1}{1}, \frac{1}{2}, \frac{3}{2}, \frac{1}{3}, \frac{3}{3}, \frac{5}{3}, \frac{1}{4}, \frac{3}{4}, \frac{5}{4}, \frac{7}{4}, \frac{1}{5}, \dots$  について

(1)  $\frac{5}{8}$  は第何項か。

(2) この数列の第 800 項を求めよ。

(3) この数列の初項から第 800 項までの和を求めよ。

7. 奇数の数列 1, 3, 5, ..... を

(1), (3, 5), (7, 9, 11), (13, 15, 17, 19), .....

のように、順に 1 個、2 個、3 個、..... の群に分ける。

(1) 第  $n$  番目の群の最初の奇数を  $n$  の式で表せ。

(2) 第 20 番目の群に入る奇数の和を求めよ。

8. 数列 1, 2, 2, 3, 3, 3, 4, 4, 4, 4, 5, 5, 5, 5, 5, 6, ..... の第  $n$  項を  $a_n$  とする。

この数列を

1|2, 2|3, 3, 3|4, 4, 4, 4|5, 5, 5, 5, 5|6, .....

のように 1 個、2 個、3 個、4 個、..... と区画に分ける。

(1) 第 1 区画から第 20 区画までの区画に含まれる項の個数を求めよ。

(2) 第 1 区画から第 20 区画までの区画に含まれる項の総和を求めよ。

(3)  $a_1 + a_2 + a_3 + \dots + a_n \geq 3000$  となる最小の自然数  $n$  を求めよ。

1. 次の数列の初項から第  $n$  項までの和を求めよ。

(1)  $3^2, 6^2, 9^2, 12^2, \dots$

(2)  $1 \cdot 5, 2 \cdot 7, 3 \cdot 9, 4 \cdot 11, \dots$

(3)  $2, 2+4, 2+4+6, 2+4+6+8, \dots$

(4)  $1, 1+\frac{1}{3}, 1+\frac{1}{3}+\frac{1}{3^2}, \dots$

(解説) (1)  $\frac{3}{2}n(n+1)(2n+1)$  (2)  $\frac{1}{6}n(n+1)(4n+11)$  (3)  $\frac{1}{3}n(n+1)(n+2)$

(4)  $\frac{3}{2}n - \frac{3}{4} + \frac{3}{4}(\frac{1}{3})^n$

(解説)

(1) 第  $k$  項は  $(3k)^2 = 9k^2$

ゆえに  $\sum_{k=1}^n 9k^2 = 9 \cdot \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1) = \frac{3}{2}n(n+1)(2n+1)$

(2) 第  $k$  項は  $k(2k+3)$

ゆえに  $\sum_{k=1}^n k(2k+3) = \sum_{k=1}^n (2k^2+3k) = 2\sum_{k=1}^n k^2 + 3\sum_{k=1}^n k$   
 $= 2 \cdot \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1) + 3 \cdot \frac{1}{2}n(n+1)$   
 $= \frac{1}{6}n(n+1)[2(2n+1)+9] = \frac{1}{6}n(n+1)(4n+11)$

(3) 第  $k$  項は  $2+4+6+\dots+2k = \sum_{i=1}^k 2i = 2 \cdot \frac{1}{2}k(k+1) = k^2+k$

ゆえに、求める和は

$$\begin{aligned}\sum_{k=1}^n (k^2+k) &= \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1) + \frac{1}{2}n(n+1) \\ &= \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1+3) \\ &= \frac{1}{3}n(n+1)(n+2)\end{aligned}$$

(4) 第  $k$  項は  $1 + \frac{1}{3} + \dots + \frac{1}{3^{k-1}} = \frac{1 - (\frac{1}{3})^k}{1 - \frac{1}{3}} = \frac{3}{2} \left\{ 1 - \left(\frac{1}{3}\right)^k \right\}$

ゆえに、求める和は

$$\begin{aligned}\sum_{k=1}^n \frac{3}{2} \left\{ 1 - \left(\frac{1}{3}\right)^k \right\} &= \frac{3}{2} \sum_{k=1}^n 1 - \frac{3}{2} \sum_{k=1}^n \left(\frac{1}{3}\right)^k = \frac{3}{2}n - \frac{3}{2} \cdot \frac{1}{3} \cdot \frac{1 - \left(\frac{1}{3}\right)^n}{1 - \frac{1}{3}} \\ &= \frac{3}{2}n - \frac{3}{4} + \frac{3}{4} \left(\frac{1}{3}\right)^n\end{aligned}$$

2. 次の和を求めよ。

(1)  $\sum_{k=1}^n k(k^2+1)$

(2)  $\sum_{k=1}^n (3n-k+1)$

(3)  $\sum_{k=5}^{14} (2k-9)$

(解説) (1)  $\frac{1}{4}n(n+1)(n^2+n+2)$  (2)  $\frac{1}{2}n(5n+1)$  (3) 100

(解説)

(1)  $\sum_{k=1}^n k(k^2+1) = \sum_{k=1}^n (k^3+k) = \sum_{k=1}^n k^3 + \sum_{k=1}^n k$   
 $= \left\{ \frac{1}{2}n(n+1) \right\}^2 + \frac{1}{2}n(n+1) = \frac{1}{4}n(n+1)(n(n+1)+2)$

$$\begin{aligned}&= \frac{1}{4}n(n+1)(n^2+n+2) \\ (2) \quad \sum_{k=1}^n (3n-k+1) &= \sum_{k=1}^n (3n+1) - \sum_{k=1}^n k = (3n+1)n - \frac{1}{2}n(n+1) \\ &= \frac{1}{2}n[2(3n+1)-(n+1)] = \frac{1}{2}n(5n+1)\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(3) \quad \sum_{k=1}^n (2k-9) &= 2\sum_{k=1}^n k - \sum_{k=1}^n 9 = 2 \cdot \frac{1}{2}n(n+1) - 9n = n(n-8) \\ \text{ゆえに } \sum_{k=5}^{14} (2k-9) &= \sum_{k=1}^{14} (2k-9) - \sum_{k=1}^4 (2k-9) \\ &= 14(14-8) - 4(4-8) = 100\end{aligned}$$

(別解)  $k-4=i$  とおくと  $2k-9=2(i+4)-9=2i-1$

また、 $5 \leq k \leq 14$  のとき  $1 \leq i \leq 10$

ゆえに  $\sum_{k=5}^{14} (2k-9) = \sum_{i=1}^{10} (2i-1) = 2 \cdot \frac{1}{2} \cdot 10(10+1) - 10 = 100$

3. 一般項が  $2n \cdot 3^{n-1}$  で表される数列の初項から第  $n$  項までの和

$S = 2 \cdot 1 + 4 \cdot 3 + 6 \cdot 3^2 + \dots + 2n \cdot 3^{n-1}$

を求めるよ。

(解説)  $S = \frac{1}{2}[(2n-1) \cdot 3^n + 1]$

(解説)

$S = 2 \cdot 1 + 4 \cdot 3 + 6 \cdot 3^2 + \dots + 2n \cdot 3^{n-1}$

両辺に 3 を掛けると

$3S = 2 \cdot 3 + 4 \cdot 3^2 + \dots + 2(n-1) \cdot 3^{n-1} + 2n \cdot 3^n$

辺々引くと

$$\begin{aligned}S - 3S &= 2 \cdot 1 + 2 \cdot 3 + 2 \cdot 3^2 + \dots + 2 \cdot 3^{n-1} - 2n \cdot 3^n \\ &= 2(1 + 3 + 3^2 + \dots + 3^{n-1}) - 2n \cdot 3^n \\ &= 2 \cdot \frac{1 \cdot (3^n - 1)}{3 - 1} - 2n \cdot 3^n \\ &= (1 - 2n) \cdot 3^n - 1\end{aligned}$$

ゆえに、 $-2S = (1 - 2n) \cdot 3^n - 1$  であるから

$S = \frac{1}{2}[(2n-1) \cdot 3^n + 1]$

4. 次の数列の初項から第  $n$  項までの和を求めよ。  $\frac{1}{1 \cdot 5}, \frac{1}{5 \cdot 9}, \frac{1}{9 \cdot 13}, \dots$ 

(解説)  $\frac{n}{4n+1}$

(解説)

第  $k$  項は

$$\frac{1}{(4k-3)(4k+1)} = \frac{1}{4} \cdot \frac{(4k+1)-(4k-3)}{(4k-3)(4k+1)} = \frac{1}{4} \left( \frac{1}{4k-3} - \frac{1}{4k+1} \right)$$

ゆえに、初項から第  $n$  項までの和は

$$\begin{aligned}\frac{1}{4} \left[ \left( \frac{1}{1} - \frac{1}{5} \right) + \left( \frac{1}{5} - \frac{1}{9} \right) + \left( \frac{1}{9} - \frac{1}{13} \right) + \dots + \left( \frac{1}{4n-3} - \frac{1}{4n+1} \right) \right] \\ = \frac{1}{4} \left( 1 - \frac{1}{4n+1} \right) = \frac{n}{4n+1}\end{aligned}$$

5. 和  $\sum_{k=1}^n k 2^k$  を求めよ。

(解説)  $(n-1) \cdot 2^{n+1} + 2$

(解説)

$S_n = \sum_{k=1}^n k 2^k$  とおくと

$S_n = 1 \cdot 2 + 2 \cdot 2^2 + 3 \cdot 2^3 + \dots + n \cdot 2^n$

$2S_n = 1 \cdot 2^2 + 2 \cdot 2^3 + \dots + (n-1) \cdot 2^n + n \cdot 2^{n+1}$

辺々を引くと

$-S_n = 2 + 2^2 + 2^3 + \dots + 2^n - n \cdot 2^{n+1}$

$= \frac{2(2^n - 1)}{2 - 1} - n \cdot 2^{n+1} = (1 - n) \cdot 2^{n+1} - 2$

よって  $S_n = (n-1) \cdot 2^{n+1} + 2$  すなわち  $\sum_{k=1}^n k 2^k = (n-1) \cdot 2^{n+1} + 2$

6. 数列  $\frac{1}{1}, \frac{1}{2}, \frac{3}{2}, \frac{1}{3}, \frac{3}{3}, \frac{5}{3}, \frac{1}{4}, \frac{3}{4}, \frac{5}{4}, \frac{7}{4}, \frac{1}{5}, \dots$  について

(1)  $\frac{5}{8}$  は第何項か。

(2) この数列の第 800 項を求めよ。

(3) この数列の初項から第 800 項までの和を求めよ。

(解説) (1) 第 31 項 (2)  $\frac{39}{40}$  (3) 790

(解説)

$\frac{1}{1} \Big| \frac{1}{2}, \frac{3}{2} \Big| \frac{1}{3}, \frac{3}{3}, \frac{5}{3} \Big| \frac{1}{4}, \frac{3}{4}, \frac{5}{4}, \frac{7}{4} \Big| \frac{1}{5}, \dots$

のように群に分ける。

(1)  $\frac{5}{8}$  は第 8 群の 3 番目の項である。第 1 群から第 7 群までには  $\sum_{k=1}^7 k$  個の項があるので  $\sum_{k=1}^7 k + 3 = 31$  であるから 第 31 項

(2) 第 800 項が第  $n$  群に含まれるとすると  $\sum_{k=1}^{n-1} k < 800 \leq \sum_{k=1}^n k$

よって  $(n-1)n < 1600 \leq n(n+1)$

これを満たす自然数  $n$  は  $39 \cdot 40 = 1560, 40 \cdot 41 = 1640$  より  $n = 40$   
 $(\sqrt{1600} = 40$  より見当をつけてもいい)第 39 群の最後の項は、最初から数えて  $1 + 2 + 3 + \dots + 39 = \sum_{k=1}^{39} k$  番目なので

$800 - \sum_{k=1}^{39} k = 20$  であるから 第 800 項は  $\frac{39}{40}$

(3) 第  $n$  群の  $n$  個の分数の和は  $\frac{1}{n} + \frac{3}{n} + \dots + \frac{2n-1}{n} = \sum_{k=1}^n \left( \frac{2k-1}{n} \right) = \frac{1}{n} \cdot n^2 = n$

ゆえに、第 1 群から第 39 群までは、群ごとに加え、第 40 群は  $\frac{1}{40}$  から  $\frac{39}{40}$  までの

20 項を足せばよい。求める和は

$$\sum_{k=1}^{39} k + \left( \frac{1}{40} + \frac{3}{40} + \frac{5}{40} + \dots + \frac{39}{40} \right) = \frac{1}{2} \cdot 39 \cdot 40 + \frac{1}{40} \left( \frac{1}{2} \cdot 20(1+39) \right) = 790$$

7. 奇数の数列 1, 3, 5, …… を

(1), (3), (5), (7), (9), (11), (13), (15), (17), (19), ……

のように、順に1個、2個、3個、……の群に分ける。

- (1) 第  $n$  番目の群の最初の奇数を  $n$  の式で表せ。
- (2) 第 20 番目の群に入る奇数の和を求めよ。

**解答** (1)  $n^2 - n + 1$  (2) 8000

**解説**

- (1) 第  $k$  番目の群に入る奇数は  $k$  個であるから、 $n \geq 2$  のとき、第 1 番目の群から  
第  $(n-1)$  番目の群までに入る奇数は

$$1+2+3+\dots+(n-1)=\frac{1}{2}(n-1)n \text{ (個)}$$

よって、第  $n$  番目の群の最初の奇数は、奇数の数列 1, 3, 5, …… の

第  $\left\lfloor \frac{1}{2}(n-1)n+1 \right\rfloor$  項である。この奇数の列の第  $N$  項は  $1+(N-1)\cdot 2=2N-1$

となるので、 $N$  に  $\frac{1}{2}(n-1)n+1$  を代入して  $2\left\lfloor \frac{1}{2}(n-1)n+1 \right\rfloor - 1 = n^2 - n + 1$

これは  $n=1$  のときにも成り立つ。

- (2) (1) の結果から、第 20 番目の群の最初の奇数は  $n=20$  より  $20^2 - 20 + 1 = 381$

第 20 番目の群には、20 項の項が属しているので

よって、求める和は初項 381、公差 2、項数 20 の等差数列の和であるから

$$\frac{1}{2} \cdot 20[2 \cdot 381 + (20-1) \cdot 2] = 8000$$

8. 数列 1, 2, 2, 3, 3, 3, 4, 4, 4, 4, 5, 5, 5, 5, 5, 6, …… の第  $n$  項を  $a_n$  とする。

この数列を

$$1|2, 2|3, 3, 3|4, 4, 4, 4|5, 5, 5, 5, 5|6, \dots$$

のように 1 個、2 個、3 個、4 個、…… と区画に分ける。

- (1) 第 1 区画から第 20 区画までの区画に含まれる項の個数を求めよ。
- (2) 第 1 区画から第 20 区画までの区画に含まれる項の総和を求めよ。
- (3)  $a_1 + a_2 + a_3 + \dots + a_n \geq 3000$  となる最小の自然数  $n$  を求めよ。

**解答** (1) 210 個 (2) 2870 (3) 217

**解説**

- (1) 第  $k$  区画に含まれる項の個数は  $k$  である。

よって、第 1 区画から第 20 区画までの区画に含まれる項の個数は

$$1+2+\dots+20=\sum_{k=1}^{20} k=\frac{1}{2} \cdot 20 \cdot 21=210 \text{ (個)}$$

- (2) 第  $k$  区画に含まれる項の総和は

$$k+k+\dots+k=k \cdot k=k^2$$

よって、第 1 区画から第 20 区画までの区画に含まれる項の総和は

$$1^2+2^2+\dots+20^2=\sum_{k=1}^{20} k^2=\frac{1}{6} \cdot 20 \cdot 21 \cdot 41=2870$$

- (3) 第 21 区画の総和は  $21^2=441$

(2) より、第 1 区画から第 21 区画までの区画に含まれる項の総和は

$$2870+441=3311$$

よって、第 21 区画のある数までの和で初めて 3000 を超えるので

$a_n$  は第 21 区画に含まれる。

$3000-2870=130$  であるから、第 21 区画の 1 番目から何番目までの和で

130 を超えるかを考えると、 $21 \cdot 6=126$ ,  $21 \cdot 7=147$  であるから、

7 番目まで 130 を初めて超える。よって、求める最小の自然数  $n$  の

値は  $n=210+7=217$